

Whitehead, A.N., *Adventures of Ideas*, 1933.

5895 ホワイトヘッド『観念の冒険』

種山恭子訳, p.501下段訳註(1), ニュートン『プリンキピア』一般的註.

5900 *Elegantissima haecce solis, planetarum & cometarum compages non nisi consilio & dominio entis intelligentis & potentis oriri potuit. [PHILOSOPHIAE NATURALIS PRINCIPIA MATHEMATICA, AUCTORE ISAACO NEWTONO, Editio tertia MDCCXXVI, (Paginae ab 526 usque ad 530), SCHOLIUM GENERALE]*

5905 種山恭子訳, p.502上段訳註(2), 訳註(2)は, p.503, デカルト『哲学原理』第1部第53節. (ママ, 51節)

5910 *Per substantiam nihil aliud intelligere possumus, quam rem quae ita existit, ut nulla alia re indigeat ad existendum. Et quidem substantia quae nulla plane re indigeat, unica tantum potest intelligi, nempe Deus. Alias vero omnes, non nisi ope concursus Dei existere posse percipimus. [Descartes, *Principiorum philosophia.*, I, 51]*

5915 *Lors que¹⁷ nous concevons la substance, nous concevons seulement une chose qui existe en telle façon qu'elle n'a besoin que de soy-mesme¹⁸ pour exister. En quoy¹⁹ il peut y avoir de l'obscurité touchant l'explication de ce mot: N'avoir besoin que de soy-mesme ; car , à proprement parler, il n'y a que Dieu qui soit tel, & il n'y a aucune chose créée* qui puisse exister un seul moment sans estre²⁰ soustenuë²¹ & conserveé par sa puissance. [Descartes, *Princ.*, I, 51, AT, IX B, 47. Trad. de Picot.]*

種山恭子訳, p.504下段

プラトンのいう「説得 (πειθω, ペイトー)」

「必然 (ἀνάγκη, アナンケー)」が思慮ある説得に伏する。

5925 *ταύτη κατὰ ταῦτά τε δι' ἀνάγκης ἡπτωμένης ὑπὸ πειθοῦς ἔμφρονος οὕτω κατ' ἀρχὰς συνίστατο τόδε τὸ πᾶν. [Plato, *Timaeus*, 48A]*

¹⁷ = Lorsque * = créée

¹⁸ = soi-même

¹⁹ = quoi

²⁰ = être

²¹ = soutenue

この、太陽、惑星、彗星の壮麗きわまりない体系は、^互志知至能の存在の深慮と支配とによって生ぜられたのでなければほかに考えようがない。[ニュートン、『プリンキピア』第2版，一般的注解]

- 5 「実体」ということで我々が理解しうるのは、それが存在するために何ら他の事物を必要としないような仕方で存在する事物に他ならない。*そして、確かに全く他の事物を必要としない実体は、ただ一つのもの、即ち、神しか理解され得ない。実際、他のすべての実体は神の協力なしには存在し得ない、と我々は認識している。[デカルト『哲学原理』第1部第51節]

10

*ここで、自分以外に何ものをも必要としない、という言葉の説明については、曖昧さがあるかもしれない。というのは、本来的な言い方をすれば、そういうものとして存在するのは神だけであり、神の能力によって支えられ、保存されることなしに、一瞬でも、存在することができるような被造物は何

15 もないのである。[デカルト／ピコ仏訳『哲学原理』第1部第51節]

- (このときにはしかし、「理性」が「必然」を説得して、生成するものの大部分を最善へ導くようにさせた、ということで、「必然」を指導する役割を演じた。)このようにして、このような仕方で、「必然」が思慮ある説得に伏
- 20 することによって、最初に、この万有は構成された。[プラトン『ティマイオス』48A]

25